

社会資本整備審議会 道路分科会
第3回四国地方小委員会の開催結果（速報）

1. 日時：平成23年11月11日(金) 14:30～16:20

2. 場所：四国地方整備局 香川河川国道事務所 2階会議室

3. 出席者

[委員長]

近藤 光男 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授

[委員]

岡村 未対 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻教授

隅田 深雪 ネスト・ウエストガーデン土佐 営業マネージャー

高塚 創 香川大学大学院地域マネジメント研究科教授

古谷 純代 高知商工会議所女性会 会長

三木 義久 四国経済連合会 専務理事

4. 議事内容

平成24年度新規事業採択時評価

1) 一般国道56号(四国横断自動車道)窪川佐賀道路

2) 一般国道56号(四国横断自動車道)津島道路

3) 一般国道55号(阿南安芸自動車道)福井道路

5. 審議結果

・平成24年度新規事業採択時評価について、審議した結果、以下の結論を得た。

1) 一般国道56号(四国横断自動車道)窪川佐賀道路

新規事業化については、「妥当」である。

2) 一般国道56号(四国横断自動車道)津島道路

新規事業化については、「妥当」である。

3) 一般国道55号(阿南安芸自動車道)福井道路

新規事業化については、「妥当」である。

6. 主な意見

【事業について】

・四国の事情を考えると、四国の道路は災害への対応や救急・救命のレベル

アップのために大きな役割が課せられている。

そのために、これらの観点からも道路が機能的・効率的に効果を発揮できるようにしっかり考えて整備を進めるとともに、評価においてもこのような観点を反映してほしい。

- ・「東日本大震災を踏まえた緊急提言」を受け実施された「災害面の再点検(案)」の結果を見ると、四国8の字ミッシングリンクは迂回路がない等災害面の弱さが際だっている。3事業以外についても事業化を図り、早急にネットワークを繋げていく必要がある。

【評価手法について】

- ・防災機能の評価に基づく事業と従来のB/Cの評価に基づく事業というように、事業によって評価方法の適用を考慮することが必要であると考ええる。
- ・防災機能の評価にどのように取り入れていくかについて、従来の3便益に入れていく方法、B/Cの外側で防災機能の評価を考えていく方法等、いろいろある。要は、国民に対していかに納得してもらうか。是非、今後も検討してほしい。